月刊地球基地

ごあいさつ



春は薪の燃え残り、如何お過ごしでしょうか。アースベースのノザワです。

四月は各所で入学式や入所式でしょう。桜もこの日に向かって咲いてくれるのはとても感慨深い物がありますね。日本人には欠かせないこの花ですが、昔、桜は「花」とだけ言われていたそうです。花=桜で通じた世の中だったのですね。なのであの唄にある、♪春のうららの~が「花」という題なのは桜の事なのですね。そんな豆知識をひとひら持って、お花見に行かれてはいかがでしょうか。…って今はいつなんだ?(是非忖度を(笑)。)

手元

近頃の看板という産業は、スマートホンの普及に伴って変わってきたように存じます。

そう、皆向こう側ではなくて手元しか見なくなったからです。上や前を見、見付けていただいての看板は、気が付いてすらもらえなくなってるのです。広告や宣伝の効果ですら小さな画面の中が主力になりました。もしもコレだけになってしまいますと以前にお話ししたデジタルサイネージや江戸看板も意味を成しません。広告主側としては、低コストで宣伝できるので無理はありません。けど、少しだけ、味気が無いではないですか。

それが証拠に、街角の広告スペースに『広告募集』と書かれたのが増えているのにお気が付きでしょうか?どうもスマホ普及と比例(反比例?)しているようで、見かける度にお気持ちをお察ししています。

電車内の中吊り広告は、地下鉄と地上の鉄道では料金が違うそうです。地上は景色など見る物がありますが、地下ではそれがありません。中吊り広告を見上げる可能性が高い、という事らしいのですが、今では相変わらず手元であります。駅名表示すら、リアルタイムで画面にお知らせしてくれるアプリまであるそうですので、こちら側方面にいるものとしてはお手上げです。

もちろん、数多い関係者さんには事情があるはずなので、どれがどうとの風はあてられませんが、ちょっと世の中がそんな感じがしてならないのであります。



その昔、UFO(ヤキソバではない)がブームになった事がありました。矢追純一さんという、テレビディレクターが『不況(バブルがはじけて)で下ばかり向いて歩いている人に上を向かせよう』と仕掛けたらしいのです。結果はご存知の通りのUFOブームが訪れ、みんなが空を見上げるようになりました。目的はどうであれ、見上げさせる行動に成功したのです。現在、もしも本当にUFOが現れても、上を純粋に向いてくれるでしょうか?ネット記事で確認したり、カメラモードでそこを狙ったり。#つけて載せるのでしょうね。いずれにせよ、ソレを手放してしまうことはないでしょう。

そんな"**手元**"な現代に、看板屋はどう立ち向かって行くべきでしょう?ひとつは職人気質でいて、良いものを作って、 存在させる事でしょうか。ナンダカワカラナイその"何か"にどう対峙しよう?1/1な世の中です。それでも大切な何か に気が付いている人がいると信じたいものですね。看板も職人も、頑張ろう。



ANZEN 看版3~誕生編~



今回は江戸川区とコラボさせていただいている、安全看板の出来るまでをこっそり 教えましょう。教えるも何も、こんな感じで出来上がっているというだけで、予想できる 物ではあるでしょうが、お立ち会い。さて、このような看板は地球のように何も無い所 から生まれて来る物ではありません。ちゃんと骨組みがあり、頑丈な木でこさえられて

います。この木が育つ所から言い始めるとキリが

無いので割愛いたしますが、しっかりした木で、しっかりしたネジでハシゴ状に組まれた木で骨格が作られています。これだけでは味気ないし、材木感が丸出し。このままではもちろん耐久性も無く、見た目もちょっと締まりがありません。そこで





水性ペンキが活躍してくれます。枠組みをいくつ か重ねてハケで茶色(マホガニーという、何とも間

の抜けた名前の色ではありますが)の塗料をぺたぺた。全体を二回、乾燥を含めて丹 誠込めて塗ります。気分はさながらペンキ屋。映画の看板描きに憧れていた筆者にと

っては夢のような時間です。ペンキの跳ねですら愛おしい。若干のコツを踏まえ、たまに除き見る童

心を抑えながらペンキ作業はとりあえず完了。これが完全に乾くと、実に年季の入った木の塀のように、艶を帯びまして、いい味わいが出るのです。最近のペンキは多種多様。実に便利になりました。さて、枠組みが出来上がりますと今度は肝心要の表示板が取り付けになります。こちらももちろん出来るプロセスがありますが、今回はこれにて。(つづく?)



入所式



四月二日、アースベースでも入所式が行われました。同じ道を共にする新たな仲間達。いい一歩を踏み出せたのではないでしょうか。ちょっと桜のピークは過ぎてしまいましたが、美しく舞う花びらがハンカチを振るように、アースベースという舟はこの日に出航をしたわけです。

これからもどうぞよろしくね。

そして、新年度のアースベースを宜しくお願いします。

編集後記

いよいよ新年度です。春は出会いの季節、皆様の前で微笑んだ桜は、きっと散ることが無いと信じて。 よい季節でありますように。

【月刊地球基地】 発行人:一般社団法人 EARTH BASE 健常者と障がい者が一緒になって看板・サイン・ポスターなどを製作しています。 〒132-0034 東京都 江戸川区川松川 3-2-1 テクノタウン 306

TEL: 03-5875-5941 FAX:03-5875-5942 mail: info@earth-b.jp URL: http://www.earth-b.or.jp/